



第28回定期大会開催！

<スローガン>

- 一 組織拡大実現！
田川さんの勇気と決断に敬意を表し、これまでの闘いの成果に自信と確信をもって、東海労の組織展望を自らが切り開こう！
- 一 ロシアの軍事侵攻をはじめとする、大国によるあらゆる軍事侵攻・武器使用反対！
憲法改悪阻止！平和・人権・民主主義を守り、国民投票に「N O！」を示す仲間を一人でも多く拡大するために参院選・統一地方選を勝利しよう！
- 一 「54歳原則出向」を利用した組織破壊攻撃を粉碎し、人権蹂躪、人権侵害の会社を許さず、強制出向裁判を勝利しよう！
- 一 会社による労基法の違法・不法行為を許さず、騙されず、諦めない仲間と共に安全・健康を守るために、全ての労働者と連帯して闘おう！

7月7日、地本は、新大阪丸ビルにおいて第28回定期大会を開催しました。大会は、柳楽副委員長の司会で始まり、議長に前田代議員を選出して議事を進めました。地本笹田委員長の挨拶に続いて、本部から山内総務部長の挨拶を受けました。来賓の定岡弁護士、新聞うずみ火矢野編集長からは、人権と平和を守るためには今こそ憲法を学ぶことが大切であるとの挨拶と激励の言葉を受けました。

質疑では9名の代議員全員が、東海労に加入した田川さんの加入を歓迎し、共に闘おうとする発言を行い、執行部からの答弁の後、各議案、新役員体制を採択し、浦谷書記長の総括答弁を行いました。最後は笹田委員長の団結ガンバローで大会を終了しました。

長く地本の重責を務められた三田副委員長、今田業務部長、竹本会計監査員が退任されました。お疲れ様でした。

**「54歳原則出向」による組織破壊をはね除け、
自信と確信をもって田川さんに続く加入を目指そう！**



2022年度 新三役体制

執行委員長	笹田 伸治
副委員長	柳楽 関
副委員長	前田 稔
書記長	浦谷 幸二
書記次長	小林 國博

【裏面に大会宣言があります】

大会宣言(案)

JR東海労30年の歴史は激しい組織破壊攻撃に抗し、JR東海労の未来への組織展望を切り拓く歴史であった。そして、われわれは今、大きな成果を獲得し、自信と確信に満ちて未来へ突き進んでいる。

6月28日、田川哲史さんがユニオンと決別し、自信に満ちた笑顔でJR東海労に加入した。7月3日の歓迎大集会は、JR総連熊谷書記長の参加をはじめ、全国から寄せられた「檄」に包まれた中で、さらなる組織拡大を誓い合う集会であった。

会社は、職場からJR東海労組合員を放逐するために、昨年来からの「54歳原則出向」を強行しようと躍起である。しかし、われわれは、本部木下委員長をはじめ、これまで11回の出向取り消しと解除を勝ち取っている。会社は本質的には白旗を揚げたとはいえ、闘いはまだ終わっていない。当事者として最前線で闘う仲間・組合員と共に運輸所に復帰させるまで共に闘おう。

われわれは、第28回定期大会の名において確認する。

- 1 本人の同意なき出向は無効である。
- 2 年休権の制限反対。年休取得に診断書は必要ない。
- 3 リニア建設反対。
- 4 憲法改悪反対、一切の軍事・戦闘行為反対。
- 5 関連企業をはじめ、出向先の労働者と連帯を強化する。
- 6 組織破壊攻撃に抗し、さらなる組織拡大に邁進する。

JR東海労は少数である。しかし、少数は限りなき拡大への萌芽を孕んでいる。

労働者は、ときどき勝利することがある、だが、数多き敗北の中に「真の勝利」を獲得することができる。仲間を増やし、連帯を強化し、会社・資本に立ち向かい、組合員と家族、そして全ての労働者の生活と未来を獲得するために、堅く固く手を携え前に進もう。

JR東海労新幹線関西地方本部は、その先頭に起って邁進する。

以上、宣言する。

2022年7月7日
JR東海労新幹線関西地方本部
第28回定期大会